



朝日子だより

社会人編 Vol.20

吉田高校の皆さんへ

夢は人生を生きる糧であるが、誰もが実現できるものではない。
ただ、やってきた努力は人を裏切らない。培った力は、明日への勇気となる。
日々の生活の中で興味・関心を持ったことに、もう一步踏み出してみよう。
「覚える」から「理解」、そして「活用」のステージに！

天野 新也 (平成8年度 普通科卒)
三井倉庫エクスプレス株式会社 総務部 勤務
早稲田大学 法学部 卒

仕事の内容

私は現在「フォワード」と言われる業界で働いています。“人”が海外旅行に行く際に、JTBやHISなどの窓口で相談に行って旅行手配をしてもらうように、“物”に対して同様のサービスを提供するのが主な業務内容です。日本から海外へ、海外から日本へ、そして海外から海外へと経済の動脈として貢献をする事業内容故、飛行機や英語と毎日触れる一見華やかなイメージの業界ですが、お金と同様に経済を止めないという重い責任を感じながら日々仕事をしています。

現在の仕事に就こうとした理由

それは現在の会社
が最も自分を必要としてくれ、またチャレンジの機会を多く与えてくれる会社だったからに他なりません。大学在学時、私は法曹の道を真剣に目指していました。残念ながら夢破れましたが、その知識・経験を非常に高く買ってくれ、入社僅か1年弱で当時の社長に「ロシアのサンクトペテルブルグに会社を立ち上げて来い」とプロジェクトメンバーに指名され、ロシア-日本を歩き来する日々を過ごしました。マイナス20℃強の気温、白夜の体験、時には3日前に立ち寄ったマクドナルドの店舗が爆破されるなどスリリングな経験もしました。その後も、会社の最大顧客であり日本が世界に誇る自動車メーカーとの入札交渉担当や人事課長など、年功序列傾向の強い会社ではいくらか有能でも若手には任せてもらえない重要な役割を若い内に数多く経験させて頂いたことは私の大きな財産となり、度胸も大分付きました。そして何より会社のチャレンジする姿勢を体感したように思います。

学生と社会人の違い

就職面接の定番質問ですが、私は学生と社会人に大きな違いは無いと思っています。時間の使い方は人それぞれです。学生だって責任ある役割を務めたり、自分の言動に責任を持たなければならない時代です。人間関係だって苦手な人ともうまく付き合っていく必要があるのは同じです。



そんなことを言ってしまうと話が終わってしまうので、強いて挙げるのならば、社会人になると学生時代に比べ自分というものを表現・主張しなければならない機会が多くなるという点かと思います。社会に出ると「初めまして」が頻繁に起こります。そんな中でもうまく人間関係を構築していくためには、自分を表現する力を養っておく必要があると思います。

今役立っていると感じている高校時代の経験

「小論文」です。受験の必須科目ではなく、授業で教えてくれるものでもないですが、やっておいて損はないものだと私は思います。社会に出ると、結果・結論も然ることながら、そこに至る“何故”をロジカルに、しかも端的に説明しなければならない機会が多くあります。時間を掛けて説明することは大抵の人ができること。しかし、短くまとめることはやってみると難しい。

限られた文字数（時間）の中で要点をまとめ、相手を納得させるためには、キーワードをうまく使ったり、説明の流れや順番、言葉選びなどを工夫しなければなりません。

その訓練には小論文はまさにうってつけであり、「あの人は説明が上手い」「賢い」と思われたい方は是非取り組んでみると良いと思います。我が家でも時々お風呂の中で子供たちに「桃太郎のお話を100文字以内で説明してごらん」と課題を出し、楽しみながら訓練しています。

吉高生へのメッセージ

勉強って嫌ですよ。でも、周りの大人は決まって「勉強しろ」と言いますよね。それは、「知らない」ということが如何に恥ずかしいことか、リスクがあることか、勉強することでその後の人生における可能性・選択肢が広がることを身をもって知っているからなんです。そのことに気付くのは1日でも早い方がいい。大事ななのは「学習」ではなく「勉強」なんです。「学習」ならば犬や猿でも出来るんです。



学校で学ぶことの全てが社会に出て使う知識ではないですが、だからと言ってそれらを知らなくてよい理由にはなりません。でも、授業で学ぶ知識だけを詰め込むのではなく、とにかく自分の知らないことを1つでも多く知る、それを自分の中で理解することが大事だと思います。

私のようなおじさんでは見分けもつかないアイドルグループのメンバーを全員知っている。それって無駄な知識でしょうか？いえいえ、大いに結構。取引先のお偉いさんがそのアイドルグループの熱烈なファンならば意気投合ですね。とにかくどんな知識が何処で役立つかは進んでみないと分からないんです。だからこそ勉強しましょう、色々なものに興味を持って少しでも多くのことを知っておきましょう。それが皆さんの自信に繋がり、魅力をもう一段高める要素になると思います。（私も今、高校時代に選択していなかった世界史を通勤電車の中で勉強しています）

